

# お墓の花瓶を割るカラス

**Q** うちの地域のカラスはお墓の花瓶を割ります。口にくわえて空から落とします。ユタのオババは先祖の祟りだと言いますが、オババは地球温暖化の原因だと言います。敵は空にいるため、お墓の花瓶に接着剤をつけ方の方が良いのでしょうか？(名護市・Mさん 50代、男性)

**A** 10年前からお墓に野犬が住み着くようになり、置いてある花瓶を至るまでとりに投げ散らかすようになりまして、不思議なことに、この野犬、シーミーやタバタのお墓参りの日だけはなくなりました。お墓の花瓶対策に良い方法はありますか？(南風原町・Kさん 50代、女性)

**A** これらのご質問を初めて聞かれる読者の皆さまからは驚きの声が続々出てくるようです。……ですよね、私もMさんやKさんの地域へお参りさせていただきます。お墓の花瓶のあるの切実な問題とて多く耳にします。

## ミニヌク(水の子)とセガキ(施飯鬼)

なぜ、このようなカラスや野犬が現れるようになった

のかについて、地域の先輩方のお話や私の知り得る琉球神祕のしきたりを総合するとき、ほぼほぼは、ミニヌクやセガキのシマクトゥワにたどり着きます。

諸説ある中のご相談に関連する直訳、意識として、ミニヌクはユース(幼少)という幼くして亡くなられたお子さまのこと、セガキは地獄道(じごくどう)・狭鬼道(かぎどう)などで迷うウヤファーフジのことをいいますが、そのお子さまやウヤファーフジを敬うウサギやお飾り、ウサギム、お供え物や儀式、法要全般までを総称しているようです。

ミニヌクでは、田盆のとき、ダーグ(団子)やウサギムンの残り野菜などを別皿に用意し、お仏壇の左下などにお供えすることあります。セガキは、ミニヌクと同じウサギムである祭具のカジヤチバチの中へ、重箱などのウサギムンを入れる作法心得のこともあります。

いずれも、ミニヌクやセガキに該当するお子さまやウヤファーフジに対し、特別なウサギムンや作法、心徳を追加することで、ウサギムン(無縁区)になりがちな故人さまに対する敬い、愛情を表現する琉球神祕のしきたりであることが広く知ら

れています。

ただ一点、ミニヌクやセガキには、他のウサギムンと異なる時系列があり、対象となるお子さまやウヤファーフジにごめくろ召し上がったいただきたいため、ウサンデー(下げ膳)は遅ければ遅いほど好ましく、のしきたりが存在します。

実は、MさんやKさんの地域では、お墓でもミニヌクやセガキが行われており、お子さまやウヤファーフジを敬うあまり、遅いウサンデーを通り越し、ウサギムンをまわりお墓に置き放しにしてご帰宅される方々も多く見受けられるとのことですよ。

故に、ウサンデーしないウサギムンには、カラスが集まり、野犬が集まり、詰まるところ、お墓の花瓶に関する質問に至るようになってくるのでしよう(ユタのおおはりのアンドン親戚のおじちゃんや、お墓のウコールイシ(首晶石)の下に花瓶を隠す)

## お墓の花瓶対策

MさんやKさんがお住まいの地域で実施されている「お墓の花瓶対策」をご紹介します。

◎お墓のウコールイシ(首晶石)の下に花瓶を隠す  
 ◎お墓のカビアンジャー蓋付きの箱の中に花瓶を隠す  
 ◎お墓から花瓶を自宅へ持ち帰る(今回は自宅からお墓へ帰る)

◎お墓の花瓶を陶器から紙コップへ交換する  
 ◎お墓の花瓶を使用せずウコールイシの花瓶の穴を花瓶と見立てる  
 ◎カラスや野犬が逃げるグッズを購入してお墓に飾る などなど、いまだ、花瓶に接着剤をつける対策には出会っていませんが、来るウサギミー(清明祭)の語源は掃墓祭(そうほうさい)というお墓掃除が由来でもあるとのこと。ソージエリートウーダイ(掃除は祈禱代)沖縄のことわざや黄金言葉クガニクウヤファーフジに感謝し、お掃除の行き届いたお墓の管理を心がける人なりこそ、一番の対策になるのかもしれません。



イラスト/堀依龍照

